

# インドネシアスラバヤ市における 都市ごみの廃棄物発電事業

日立造船(株)、(株)西原商事、(株)NTTデータ経営研究所、(公財)北九州市環境整備協会  
環境省「我が国循環産業海外展開事業化促進事業」(2014年度)②

## 【プロジェクト概要】

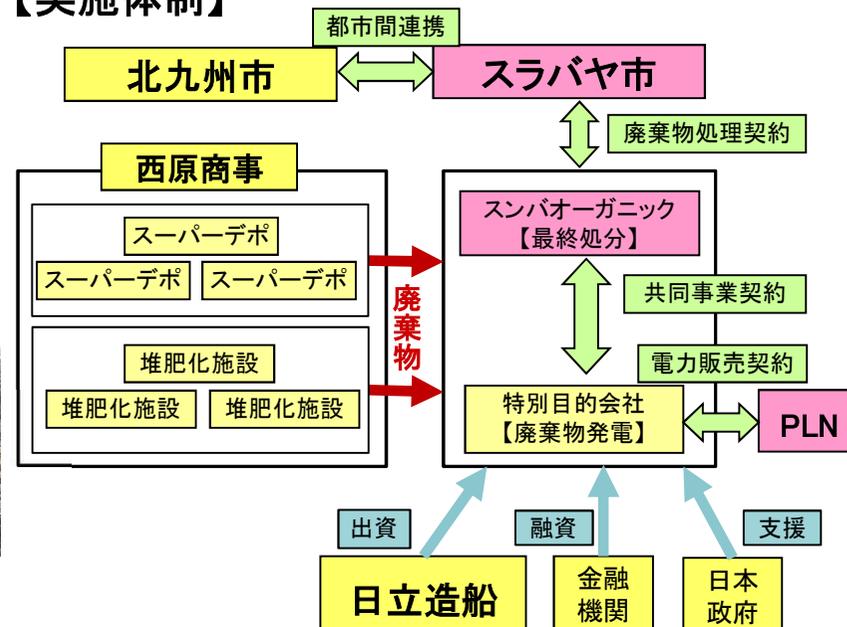
スラバヤ市近郊に廃棄物焼却プラントを建設し、市内から集められた都市固形廃棄物を焼却処理し、熱回収を行って発電する。また、発電量から自家消費を除いた電力を外部（系統）に供給する。

対象廃棄物：都市固形廃棄物

利用技術：焼却発電技術、廃棄物の選別、堆肥化

導入規模：500t/日

## 【実施体制】



- 廃棄物発電を実施するためには、2,000kcal程度の熱量が必要
- 熱量を高めるためには、「都市ごみの“分別”」や、「最終処分場における”掘り起こしごみ”の活用」が必要
- “分別”については、西原商事が事業化を目指すモデルとの協調を想定。分別した残さを活用
- 掘り起こしごみについては、最終処分場において乾燥した熱量の高いごみを活用